

令和3年度
国分寺市市民アンケート調査
報告書

【概要版】

令和3年8月

国分寺市

《調査の目的》

本調査は、市民の生活意識や市の施策に対する考えを把握し、国分寺市ビジョン実行計画における各施策の進捗管理の基礎資料にするとともに、市政運営のための貴重な情報として活用することを目的としています。

《調査の概要》

- 調査対象 国分寺市に住民登録している満 18 歳以上の市民（令和 3 年 3 月 1 日現在）
- 対象人数 3,000 人
- 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
（住民基本台帳に登録されている満 18 歳以上の在住者を、それぞれ世代ごとに 6 つに区分し抽出）
- 調査方法 配布：郵送
回収：郵送又はインターネット回答
- 調査期間 令和 3 年 4 月 1 日（木）～4 月 22 日（木）
ただし、令和 3 年 5 月 12 日（水）到着分までを有効回答とした。
- 有効回答数 1,221 件（回収率：40.7%）
※上記うち、インターネットによる回答は 403 件

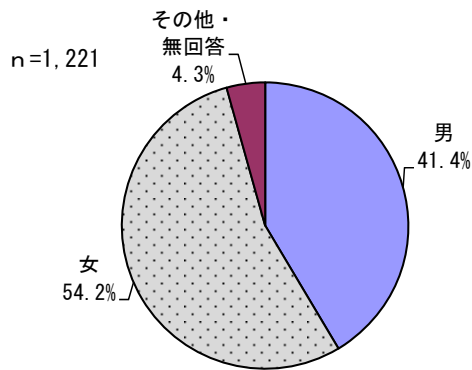
《報告書の表記》

- 調査結果の回答比率はすべて百分率（%）で表しており、その質問の回答者数を基数として、百分率の小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は 100%を超えます。
- グラフ中の「n」(net)とは、その質問への回答者数を表します。
- 属性別のクロス集計では、属性項目の無回答を除いて集計しているため、属性の各項目の「n」の合計が「全体」と一致しない場合があります。
- 「居住地域」は、『国分寺市都市計画マスタープラン』（平成 28 年 2 月）による「生活行動の実態に即した空間の広がり（圏域）や地形等の自然的条件、土地利用の状況等を考慮した 5 地域」に区分して集計分析を行っています。

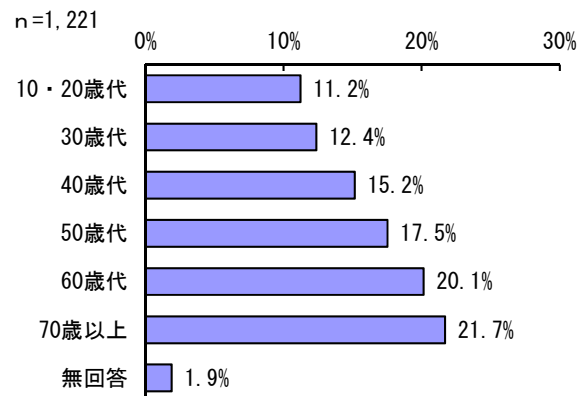
◇ 回答者の属性

(1) 性別・年齢

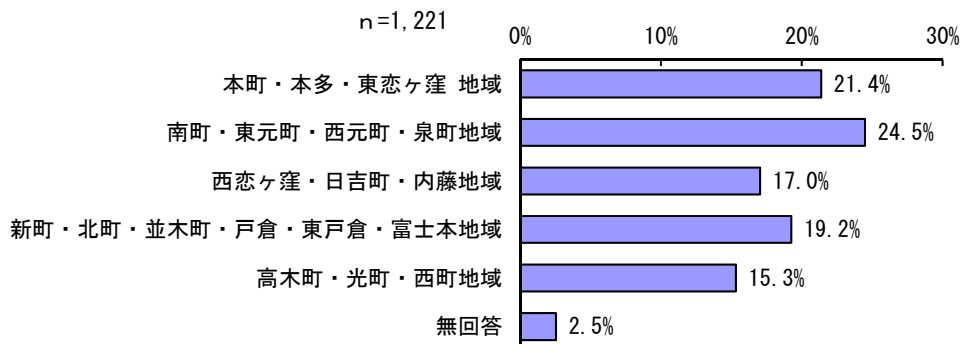
■ 性別



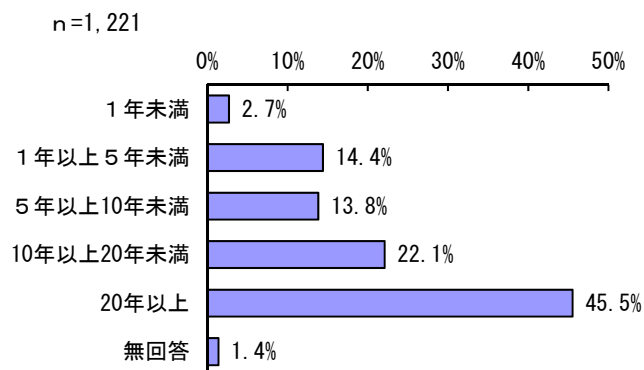
■ 年齢



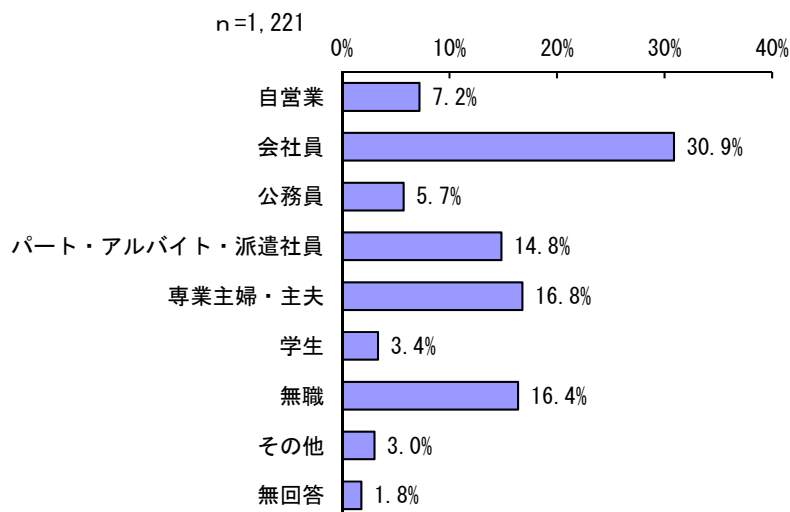
(2) 居住地



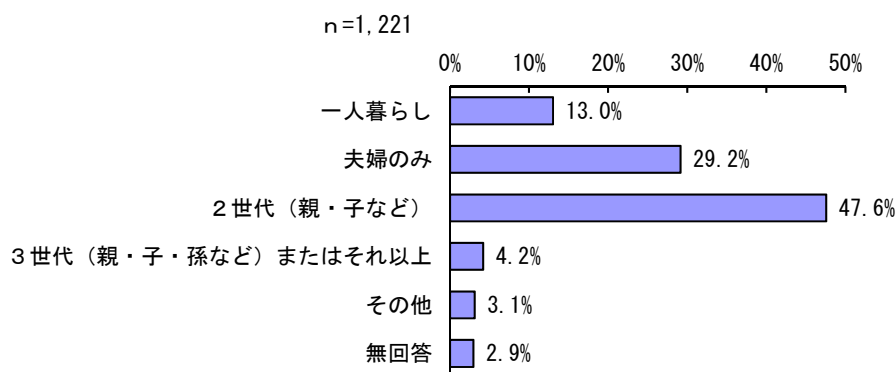
(3) 居住年数



(4) 職業

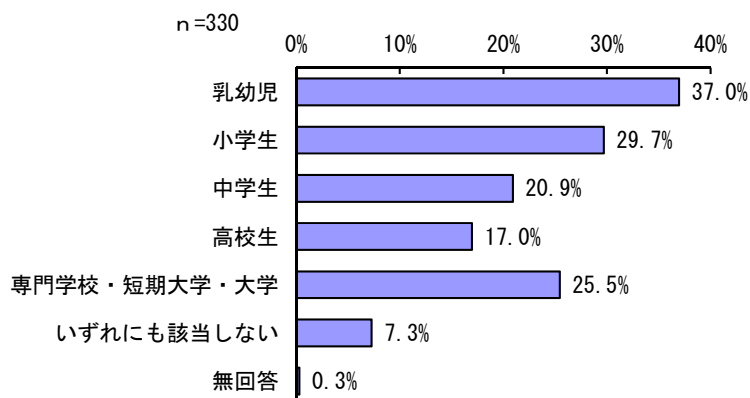


(5) 家族構成

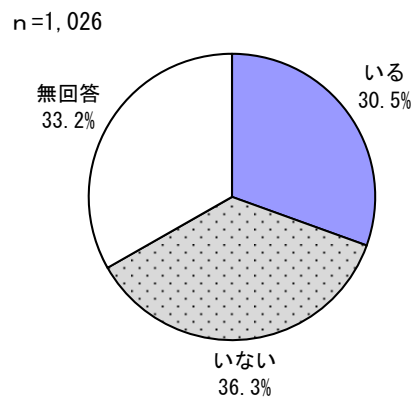


(6) 養育中の子ども・同居する高齢者

■ 養育中の子どもの段階



■ 同居する高齢者（65歳以上）

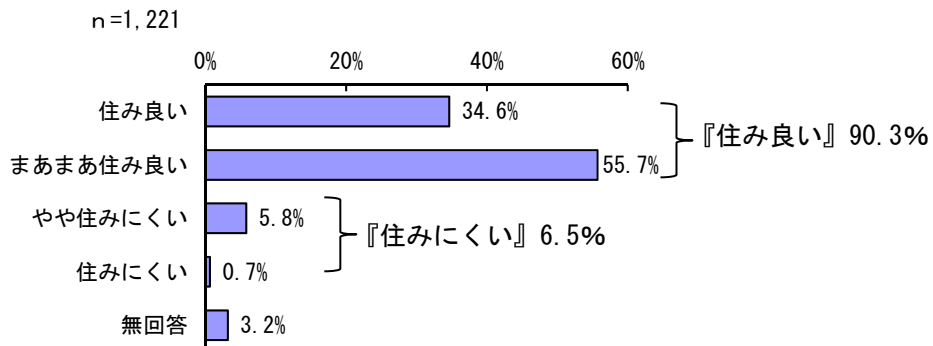


◇住みやすさと定住意向

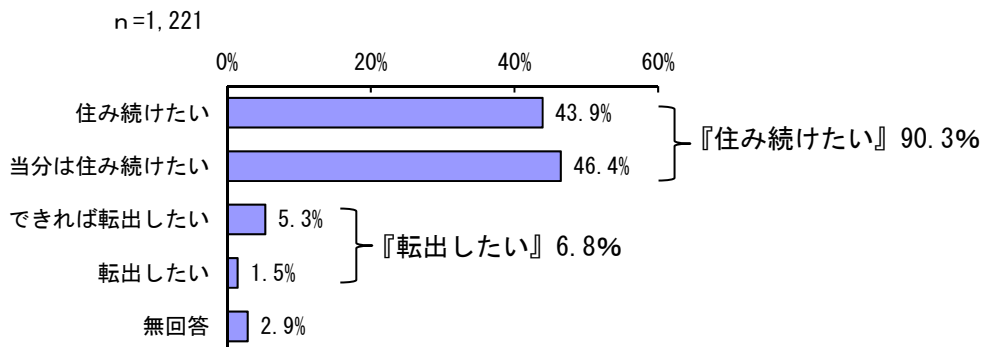
(1) 住みやすさ・定住意向

住みやすさの「住み良い」と「まあまあ住み良い」を合わせた『住み良い』、定住意向の「住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』は、いずれも回答者の9割を占めて高くなっています。

■住みやすさ



■定住意向

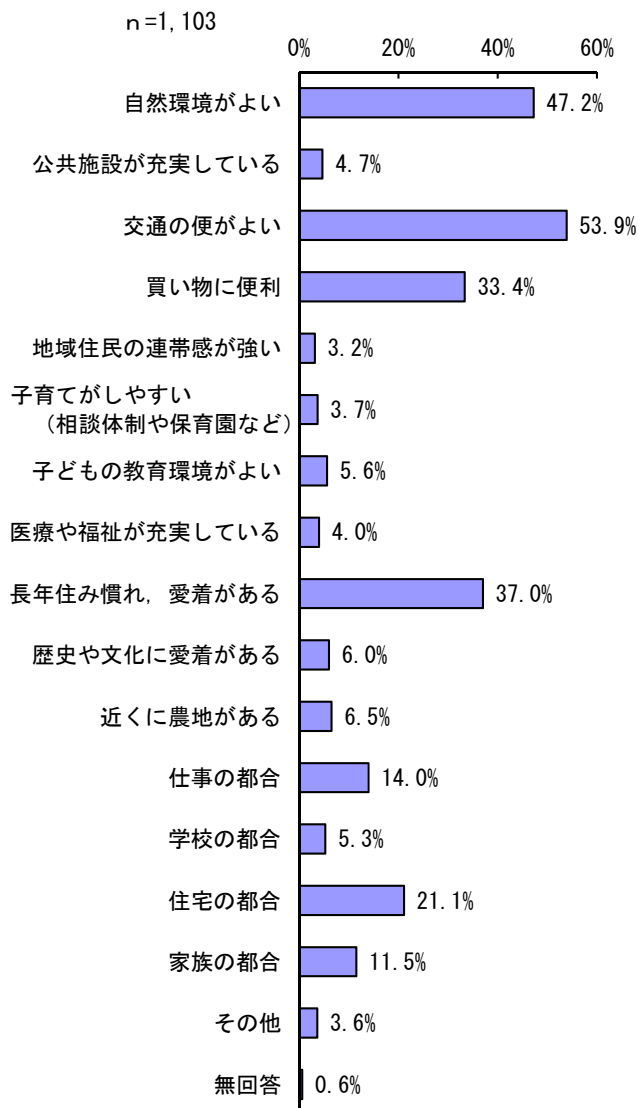


(2) 住み続けたい理由・転出したい理由

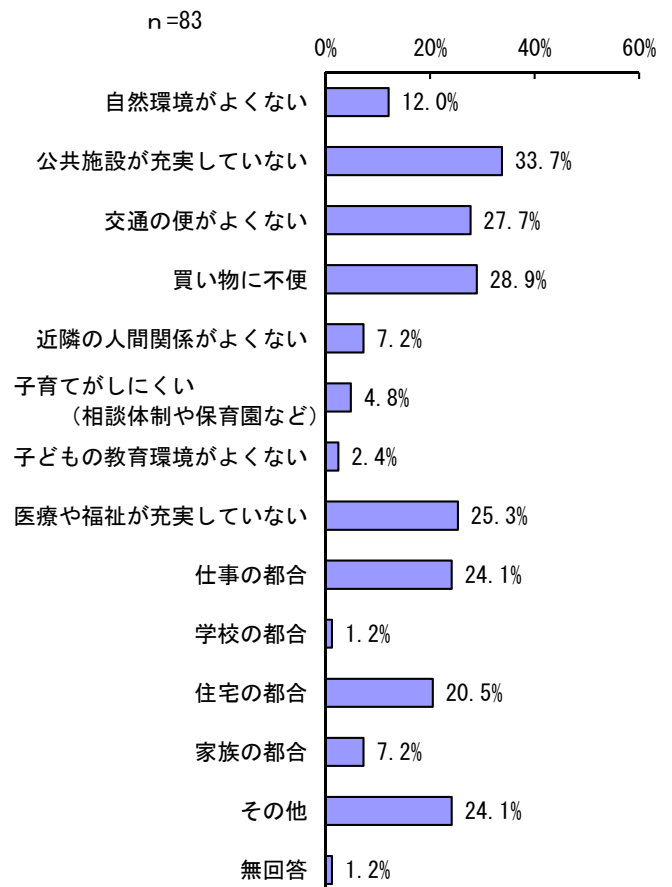
住み続けたい理由としては、「交通の便がよい」が5割を超えて最も高く、「自然環境がよい」、「長年住み慣れ、愛着がある」、「買い物に便利」が3割を超えて続いています。

転出したい理由としては、「公共施設が充実していない」が3割を超えて最も高く、次いで「買い物に不便」、「交通の便がよい」、「医療や福祉が充実していない」、「仕事の都合」、「住宅の都合」の順に2割を超えて続いています。

■住み続けたい理由（複数回答）



■転出したい理由（複数回答）

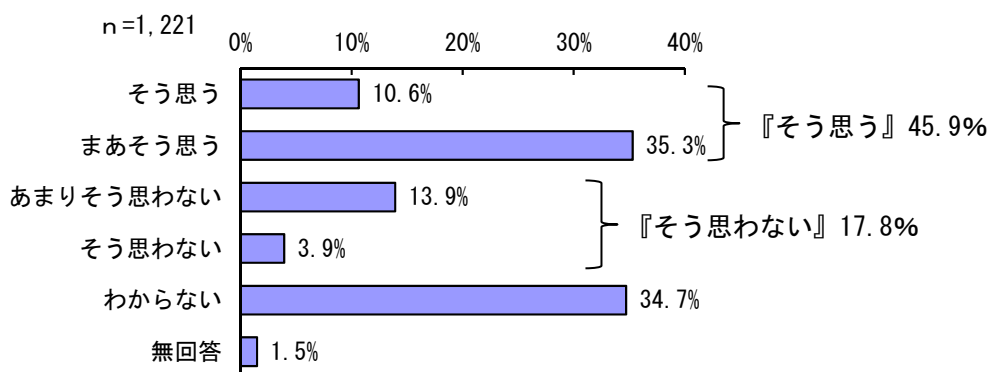


◇ 子ども・学び・文化

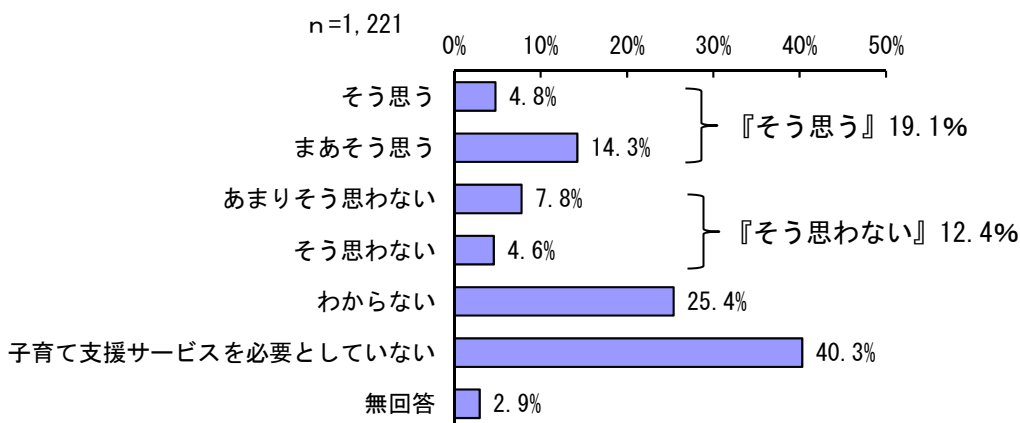
(1) 子育て施設の整備状況・子育て支援サービスの利用状況

身近に子育て施設が整備されていると思うかについて、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』は4割半ばを超えています。また、必要な子育て支援サービスを利用できていると思うかについては「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』は19.1%と2割程度となっています。

■ 子育て施設が十分に整備されていると思うか

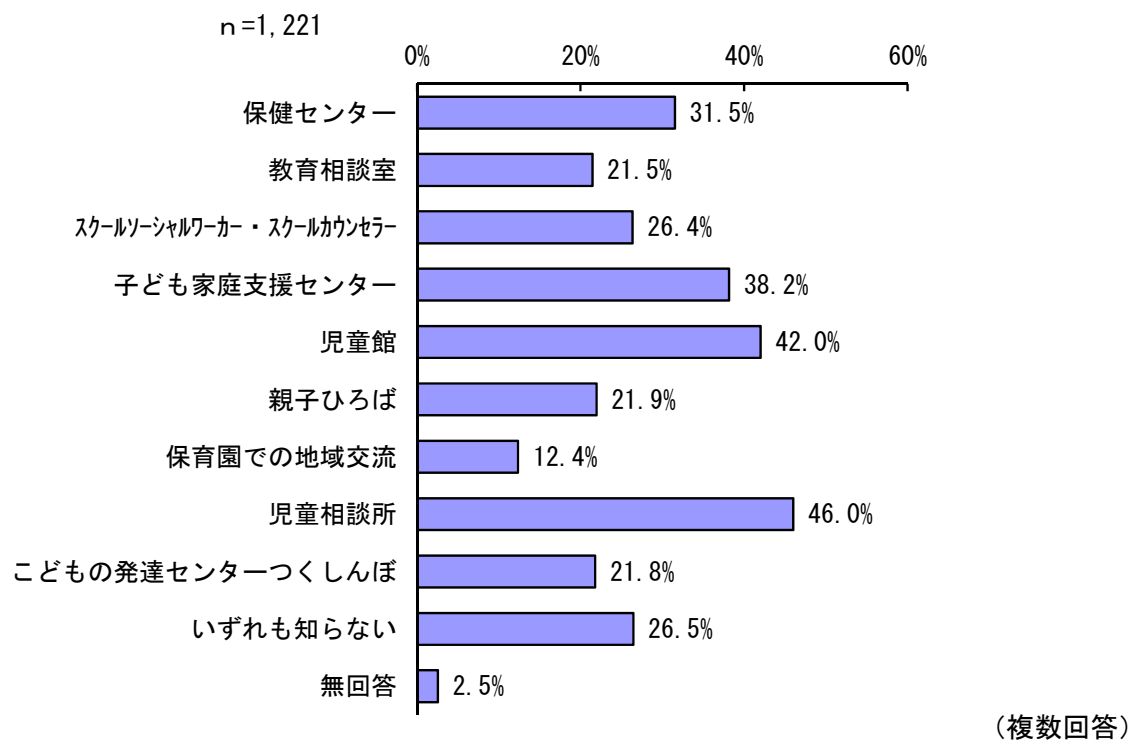


■ 必要な子育て支援サービスを利用できていると思うか



(2) 子育てに関する相談場所

子どもに関する悩みや心配事の相談場所の認知状況は、「児童相談所」が46.0%と4割半ばを超えて最も高く、次いで「児童館」が42.0%、「子ども家庭支援センター」が38.2%、「保健センター」が31.5%と3割を超えて続いています。



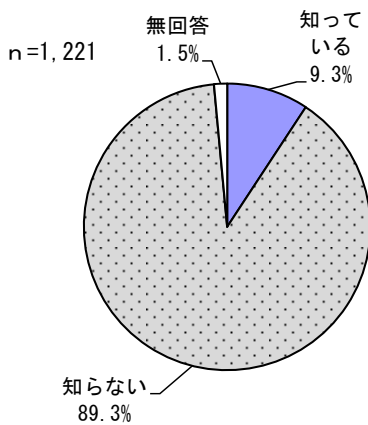
(3) 若者支援*

※若者支援：ひきこもりなど社会生活を送る上で、何らかの悩みを抱える15歳（義務教育修了後）以上40歳未満の方の自立に向けた支援

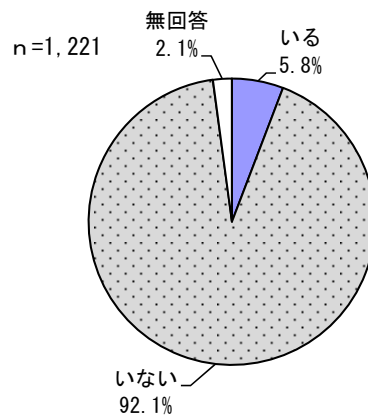
若者支援の認知状況については、「知らない」が89.3%と約9割を占めています。

身近にひきこもり状態にある若者がいる回答者は5.8%で、その身近なひきこもり状態の若者の年齢は、「30歳代」が36.6%、「15歳以上（義務教育修了後）」と「20歳代」がともに28.2%となっています。また、身近にひきこもり状態にある若者がいる回答者のうち、相談先について「知らない」と回答した割合は6割を占めています。

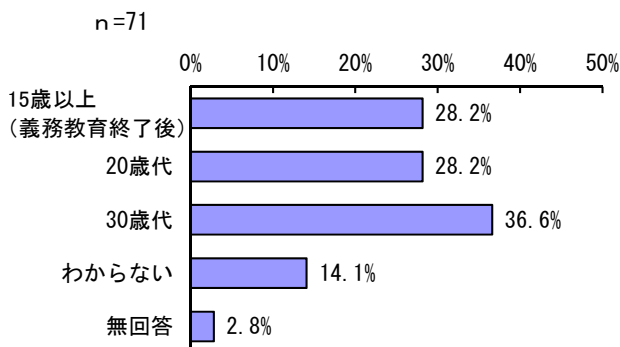
■若者支援の認知度



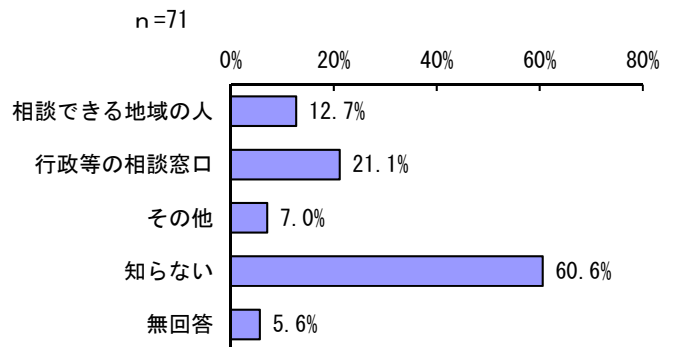
■身近にひきこもり状態にある若者がいるか



■身近な状態の若者の年齢（複数回答）



■身近にひきこもり状態の若者がいる回答者の相談先（複数回答）



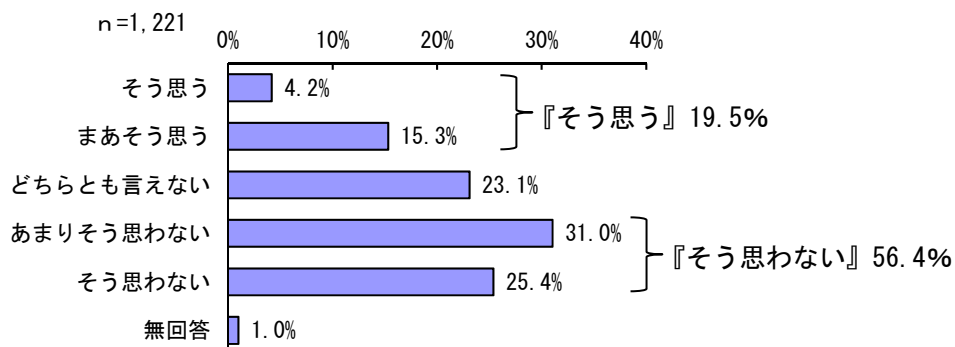
(4) 文化芸術活動・学習体験

市内で文化芸術に触れることができていると思うかについては、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』は19.5%と2割を切っています。

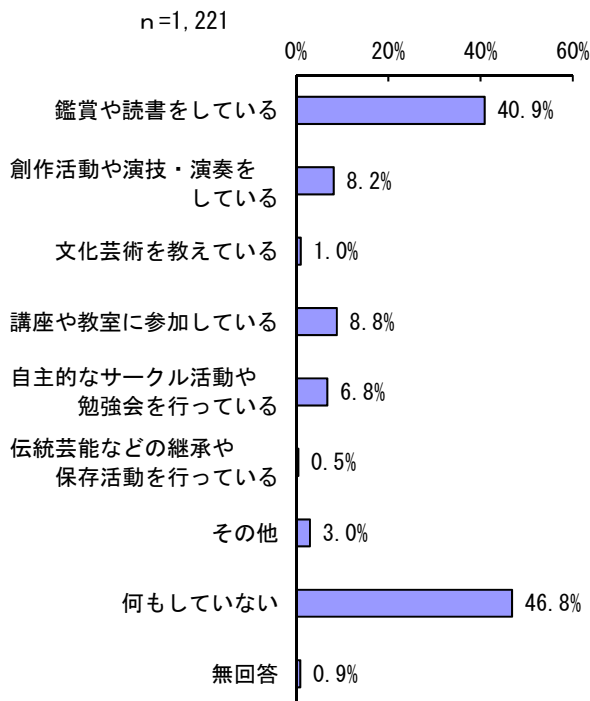
また、過去1年間で行った文化芸術活動の内容では、「何もしていない」が46.8%と最も高く、文化芸術活動のうちでは「鑑賞や読書をしている」が4割で突出しています。

また、過去1年間の学習体験では「読書をした」、「インターネットで調べ物をした」といった自宅で行うことができる学習が約5割、「何もしていない」が31.1%と高くなっています。

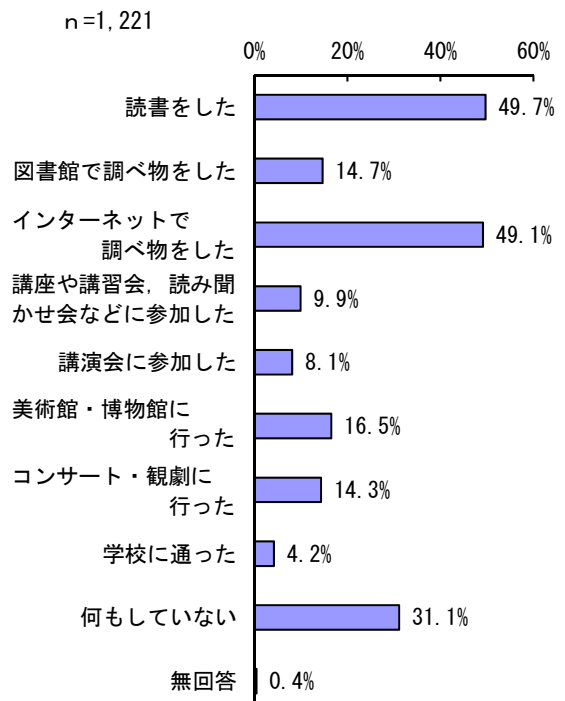
■市内で文化芸術に触れることができていると思うか



■過去1年間の文化芸術活動（複数回答）

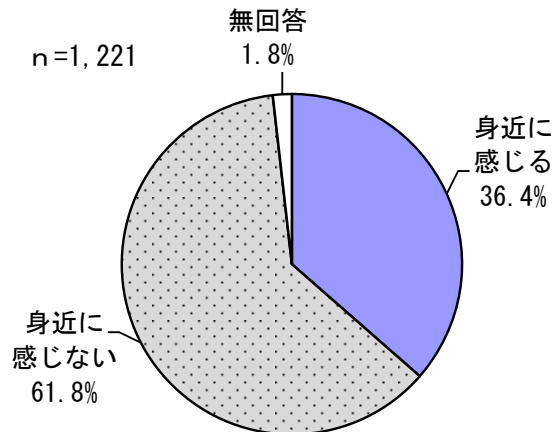


■過去1年間の学習体験（複数回答）



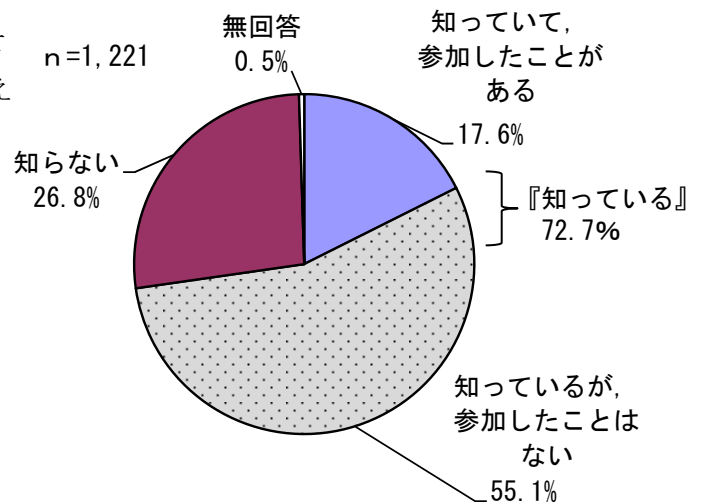
(5) 小・中学校の身近さ

地域の小・中学校を身近に感じるかについて、「身近に感じる」が36.4%となっています。



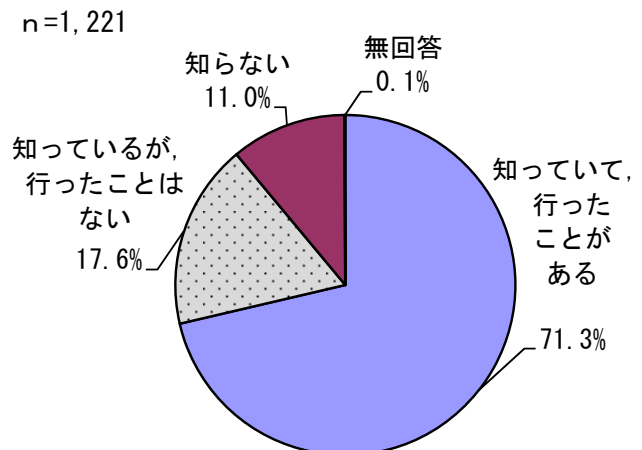
(6) 公民館・図書館の事業の認知度

公民館・図書館で実施している事業の認知度について、「知っていて、参加したことがある」と、「知っているが、参加したことはない」を合わせた、事業を『知っている』は72.7%と7割を超えています。



(7) 史跡の認知度

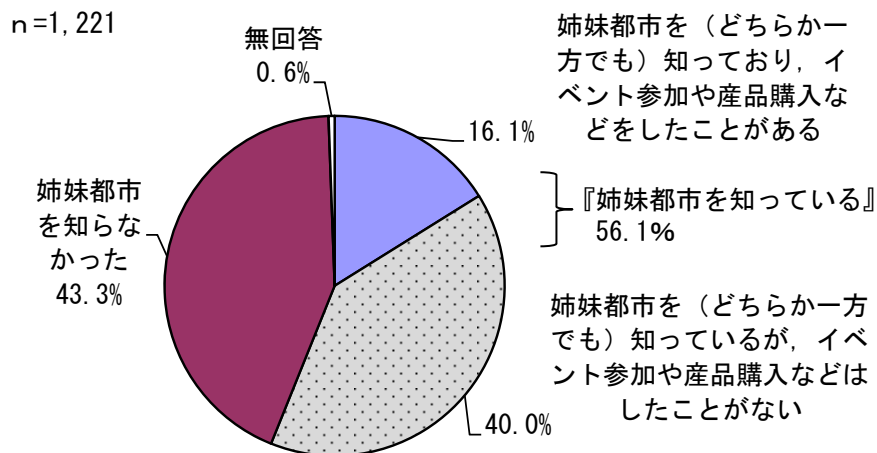
史跡武蔵国分寺跡の認知度について、「知っていて、行ったことがある」が71.3%と7割を超えて高くなっています。



◇ 地域振興

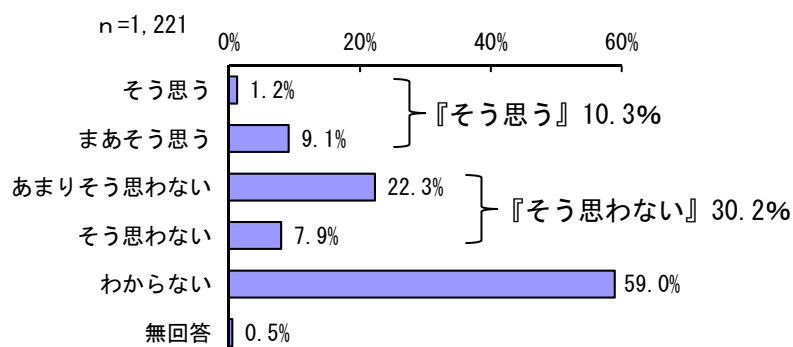
(1) 姉妹都市の認知度

姉妹都市（「佐渡市」、「マリオン市」）の認知度について、「姉妹都市を（どちらか一方でも）知っており、イベント参加や産品購入などをしたことがある」と「姉妹都市を（どちらか一方でも）知っているが、イベント参加や産品購入などはしたことがない」を合わせた『姉妹都市を知っている』割合は56.1%と5割半ばを超えています。



(2) 外国人が暮らしやすい環境

外国人にとって暮らしやすい環境が整っていると思うかについて、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』は10.3%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』は30.2%と、『そう思わない』が『そう思う』の3倍近くとなっており、「わからない」は59.0%と約6割を占めています。

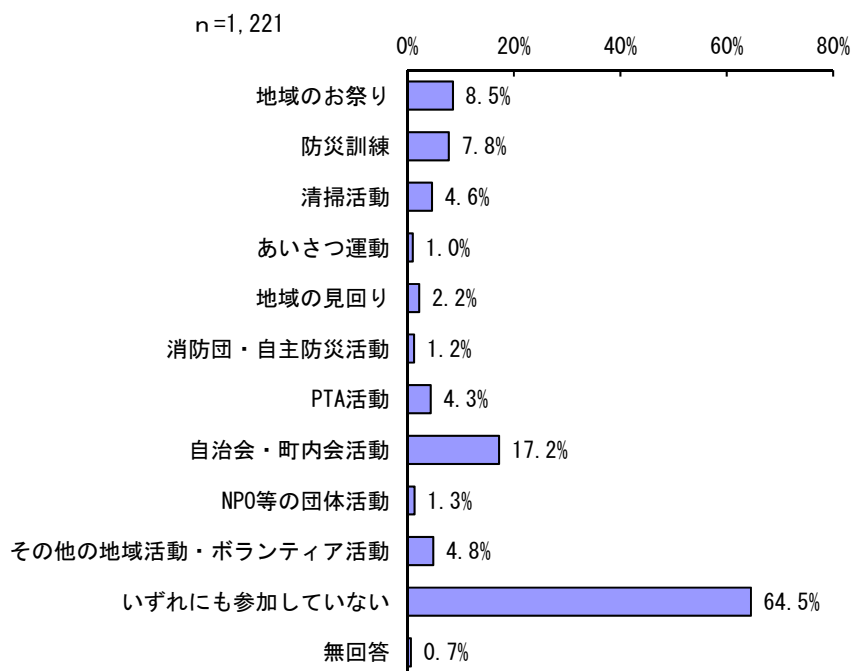


(3) 地域活動への参加

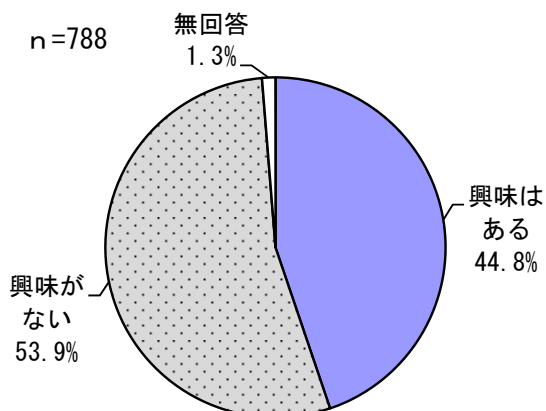
過去1年間に、地域活動に「いずれにも参加していない」人の割合は64.5%と6割半ば近くを占めています。最も参加されている地域活動は、「自治会・町内会活動」で17.2%となっており、それ以外の地域活動はいずれも1割を切っています。

また、地域活動に「いずれにも参加していない」人のうちの4割半ばは地域活動に興味を持っていますが、地域活動に参加できなかった理由として、「時間がない」と「参加方法がわからない」が3割半ばを超えて高く、「その他」の内容では、「コロナ禍の影響でイベントが中止になった/活動ができなかった」という回答が多くなっています。

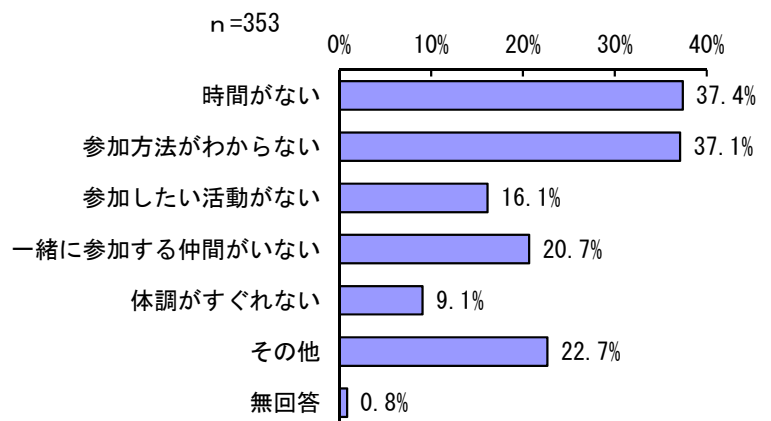
■過去1年間で参加した地域活動（複数回答）



■地域活動に参加していない人の 地域活動に対する興味



■興味はあるが地域活動に参加できなかった理由 (複数回答)

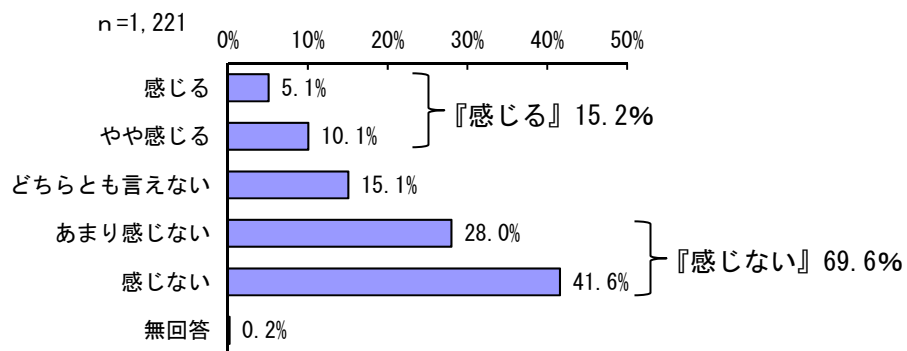


◇ 保健福祉

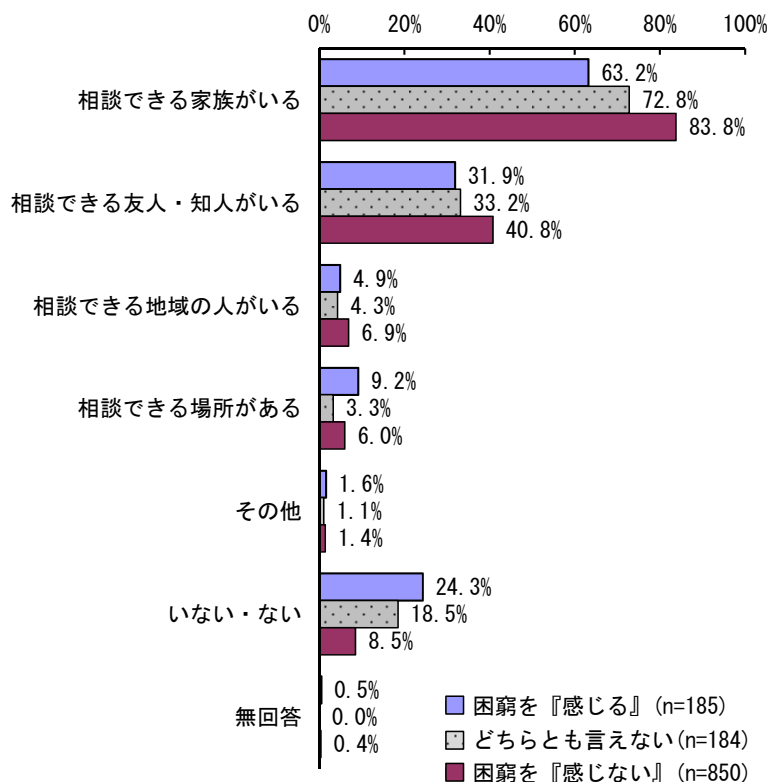
(1) 生活困窮

生活困窮の実感について、現在、生活に困窮を「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』割合は15.2%となっています。また、生活に困ったときの相談先について、生活に困窮を『感じる』回答者は、生活に困窮を『感じない』回答者より、相談できる相手や場所が「いない・ない」が3倍近く高くなっています。

■生活困窮の実感



■生活に困ったときの相談先（複数回答）

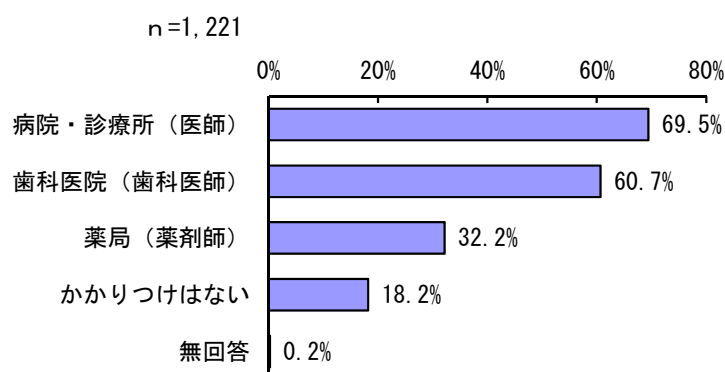


(2) 健康に対する意識

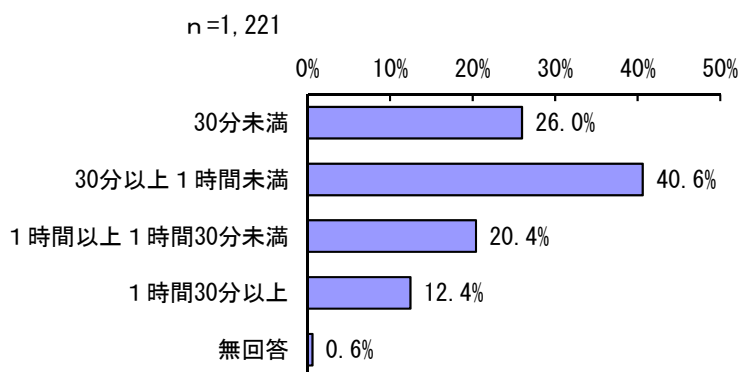
かかりつけ医療機関の有無については、「病院・診療所（医師）」が約7割、「歯科医院（歯科医師）」が6割で、「薬局（薬剤師）」は3割台となっています。

また、1日の歩く時間は「30分以上1時間未満」が40.6%と4割を占め、最も高くなっています。

■ かかりつけ医療機関の有無（複数回答）



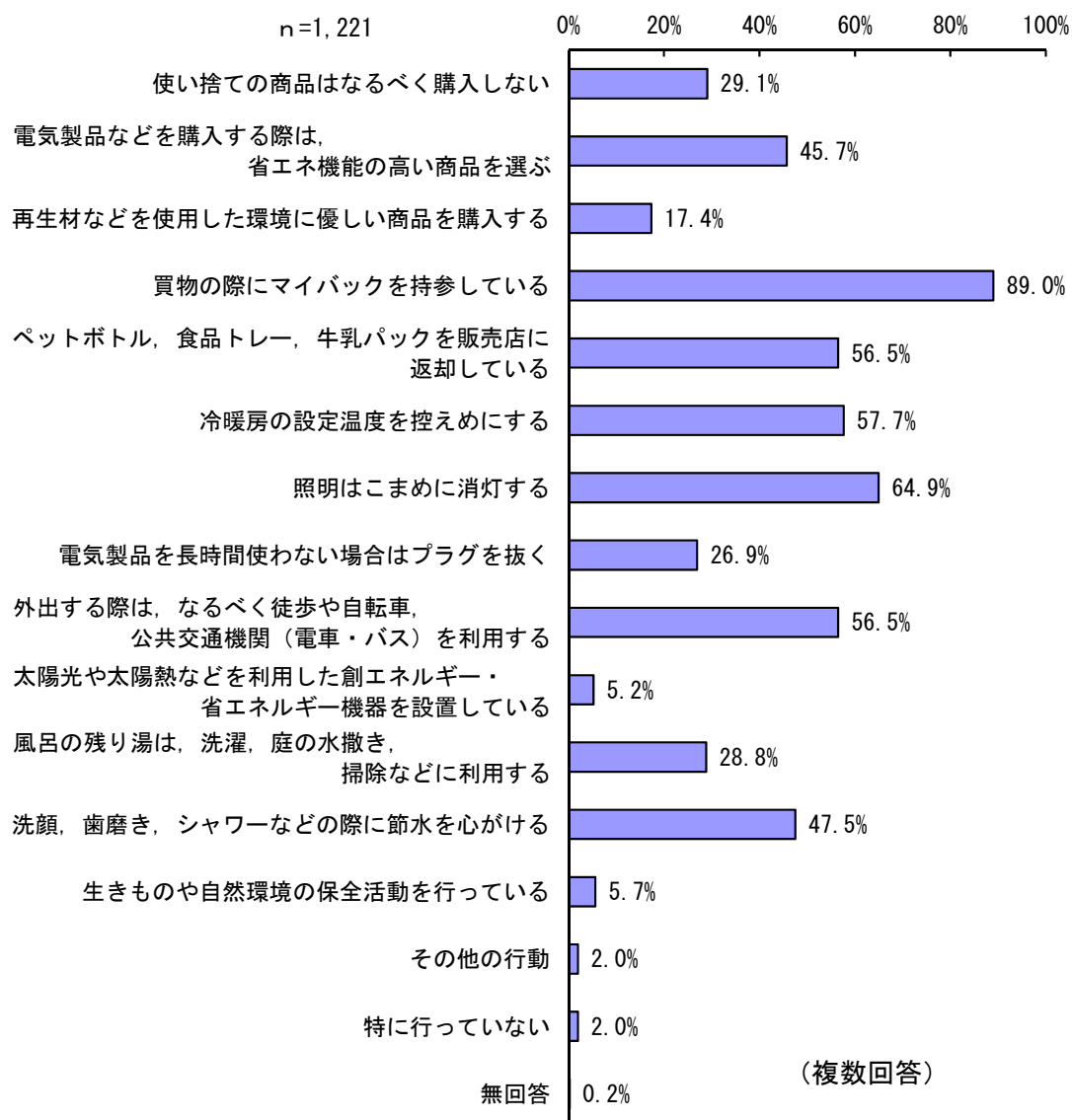
■ 1日に歩く時間



◇ くらし・環境

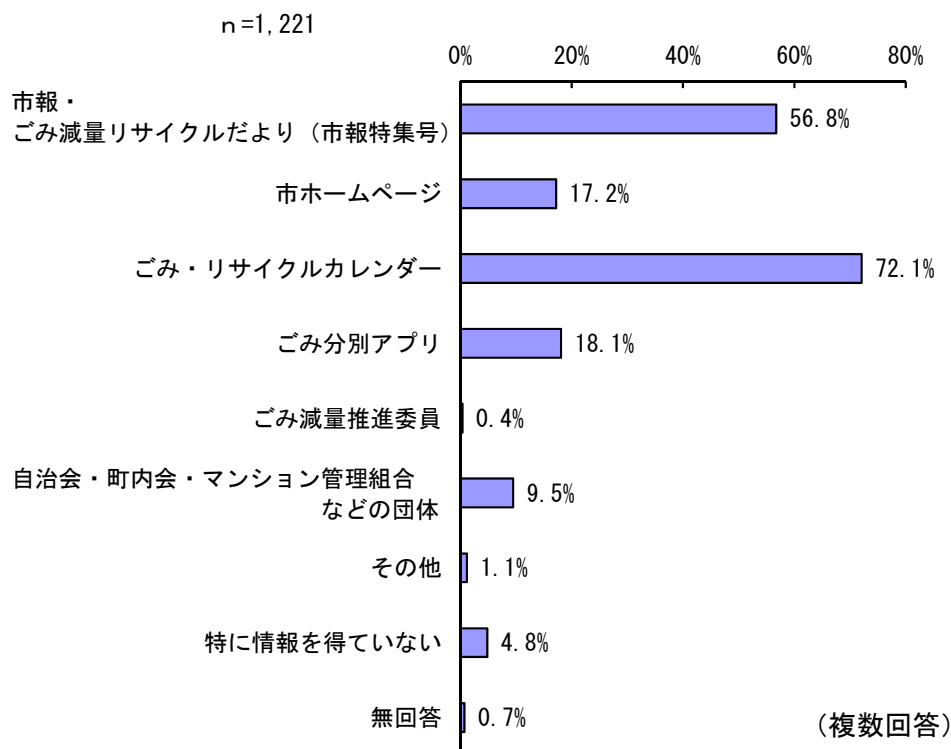
(1) 環境に配慮した行動

環境に配慮して行っていることは、「買物の際にマイバックを持参している」が9割近くで最も高く、次いで「照明はこまめに消灯する」、「冷暖房の設定温度を控えめにする」、「ペットボトル、食品トレー、牛乳パックを販売店に返却している」、「外出する際は、なるべく徒歩や自転車、公共交通機関（電車・バス）を利用する」といった行動の割合が高くなっています。



(2) ごみ処理に関する情報入手先

ごみの減量や分別，リサイクルに関する情報入手先は，「ごみ・リサイクルカレンダー」が7割，「市報・ごみ減量リサイクルだより（市報特集号）」が5割半ばを超えて，その他の項目より突出して高くなっています。また，「市ホームページ」や「ごみ分別アプリ」など，PC・スマートフォン等の電子機器上で情報を入手する割合がそれぞれ2割近くとなっています。



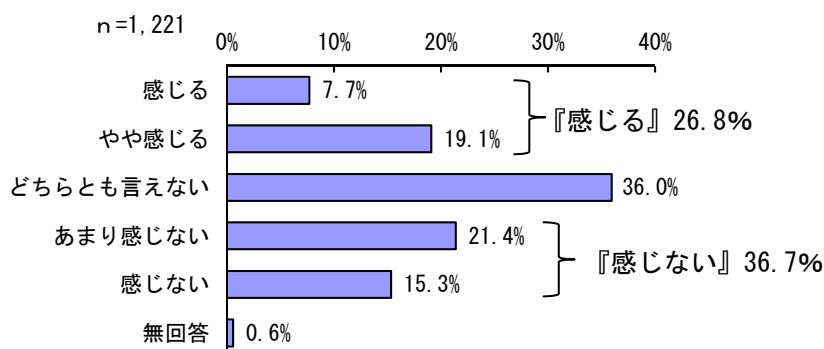
(3) 市内の交通状況

市内の自転車を利用する人の運転・駐輪マナーについて、マナーが守られていると『感じない』は36.7%と、『感じる』を約10ポイント上回っています。

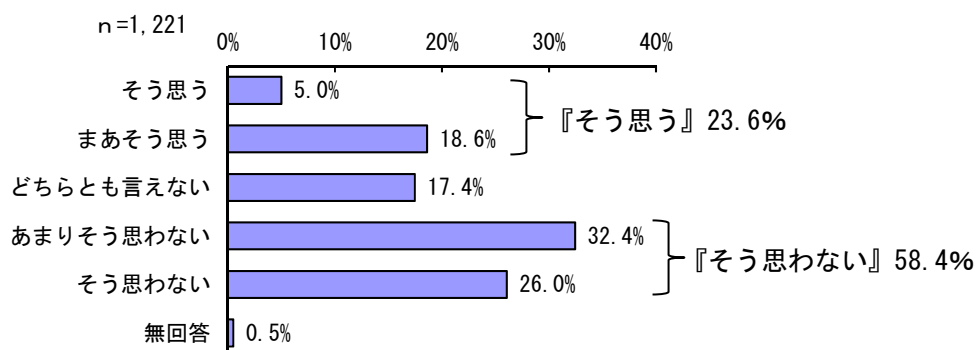
居住地区の道路が安全で快適な環境が確保されていると思うかについて、『そう思わない』は58.4%と6割近くを占め、『そう思う』を約35ポイント大きく上回っています。

市の道路が市の内外や拠点（駅・公共施設など）へアクセスしやすいと思うかについては、『そう思う』は41.1%と4割を超えて、『そう思わない』を8.3ポイント上回っています。

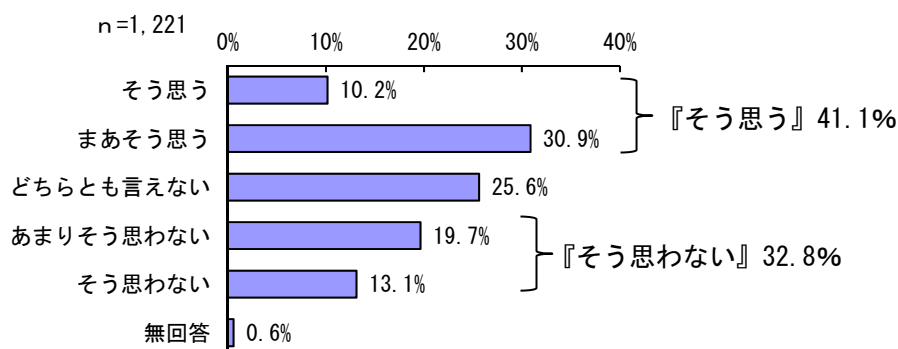
■市内の自転車マナーが守られていると感じるか



■道路が安全で快適な環境が確保されていると思うか

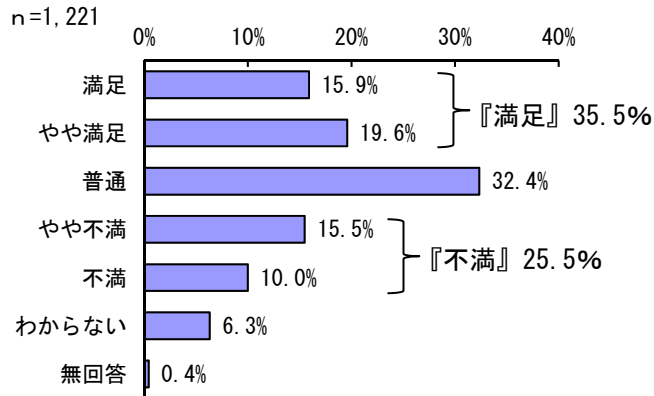


■道路が市の内外や拠点（駅・公共施設など）へアクセスしやすいと思うか



(4) 公園や緑地の満足度

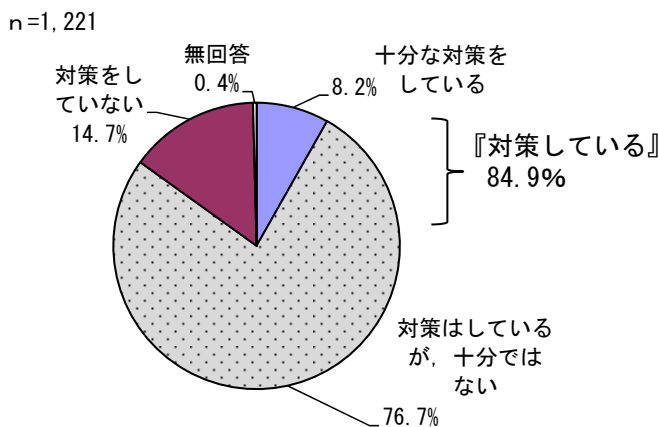
市内の公園や緑地の満足度は、『満足』が3割半ば、『不満』は2割半ばとなっており、『満足』が『不満』を10ポイント上回っています。



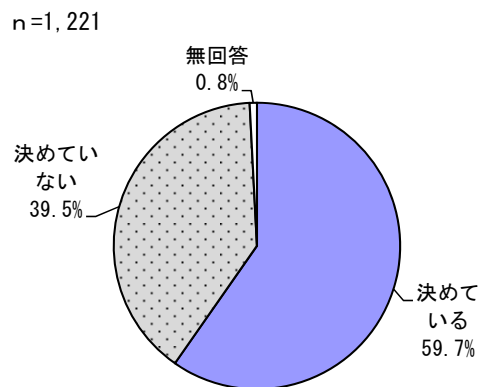
(5) 防災対策

防災対策については、「十分な対策をしている」と「対策はしているが、十分ではない」を合わせた『対策している』は84.9%と8割半ばを占めています。一方で、回答者の約4割が避難場所を「決めていない」としています。

■ 防災対策の状況



■ 避難場所を決めているか

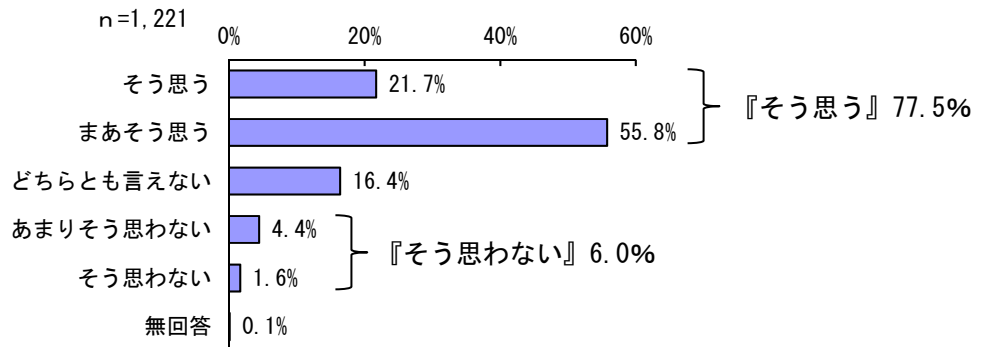


(6) 市の治安状況・消費生活におけるトラブル

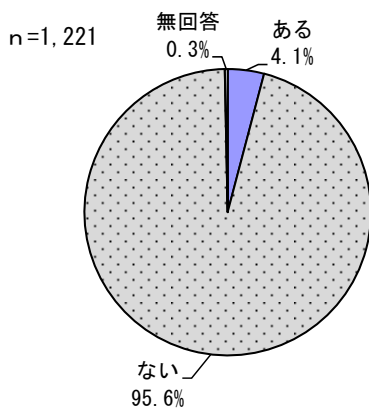
市の治安がよいと思うかについて、『そう思う』は77.5%と7割半ばを超えています。

また、過去1年間の消費に関するトラブルの有無については、「ある」の割合は4.1%となっており、「ある」と回答した人のうち、「相談場所や対応する方法がわからなかった」は18.0%で2割近くとなっています。

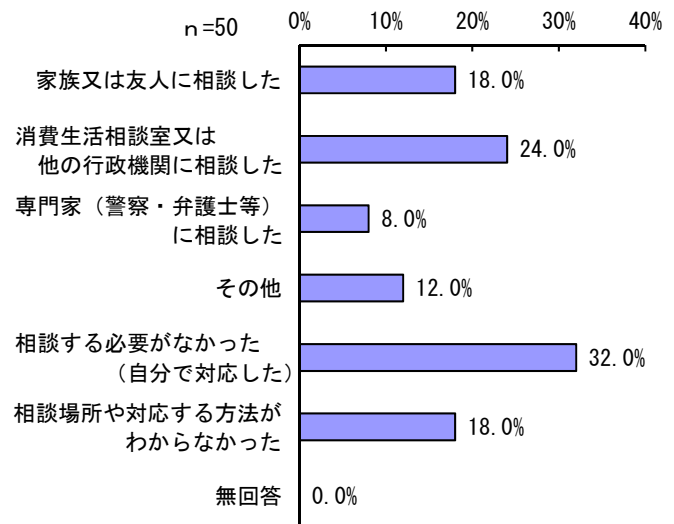
■市の治安状況



■過去1年間の消費に関する トラブルの有無



■消費に関するトラブルの対応方法



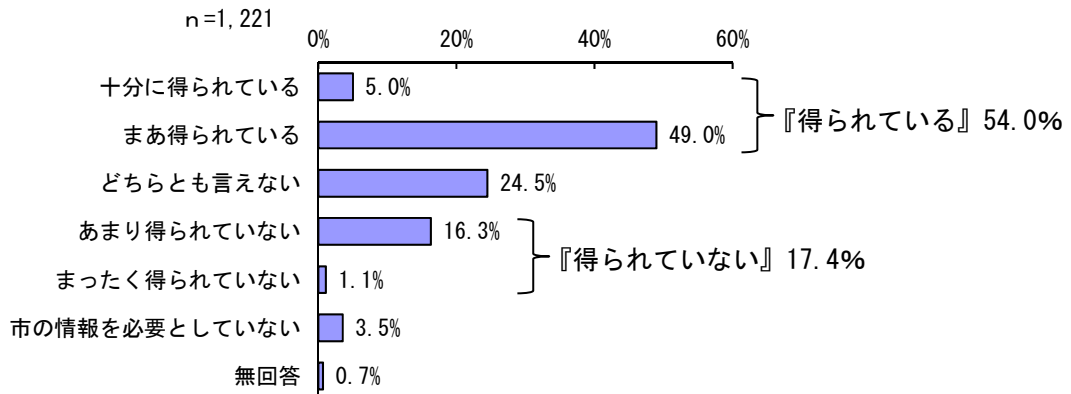
◇ 公共経営

(1) 市の情報の入手状況

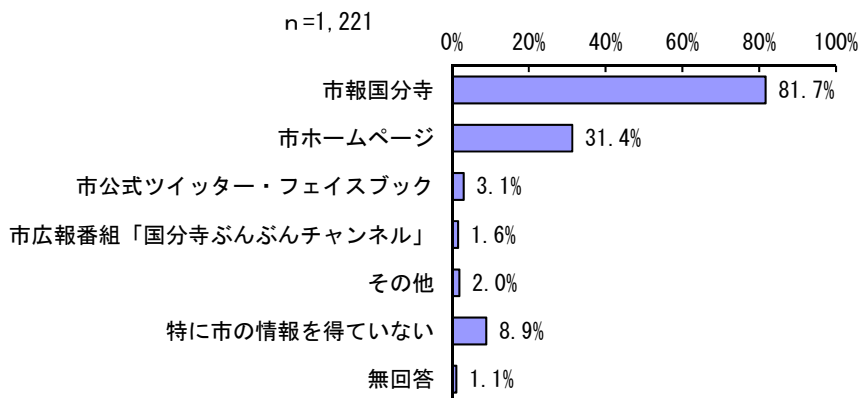
必要とする市の情報を『得られている』は5割半ば近くを占めており、『得られていない』を36.6ポイントと大きく上回っています。

情報の入手先は「市報国分寺」が81.7%と8割を超えて突出して高くなっています。

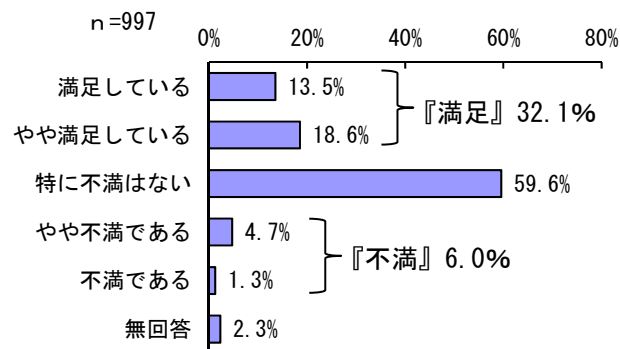
■ 必要とする市の情報が得られているか



■ 市の情報の入手先（複数回答）



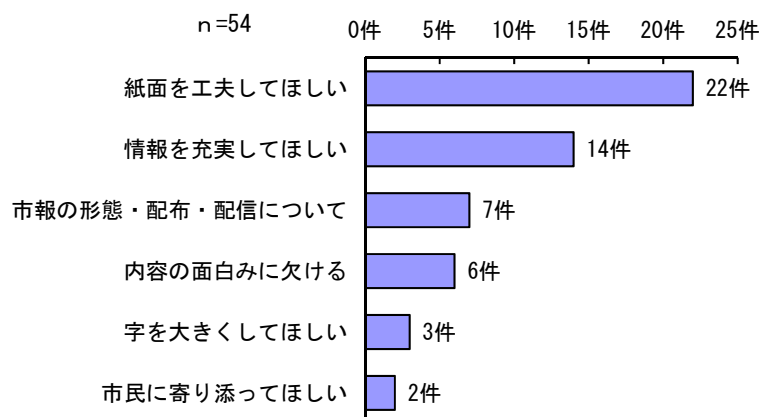
■ 市報国分寺の満足度



(2) 市報国分寺についての意見

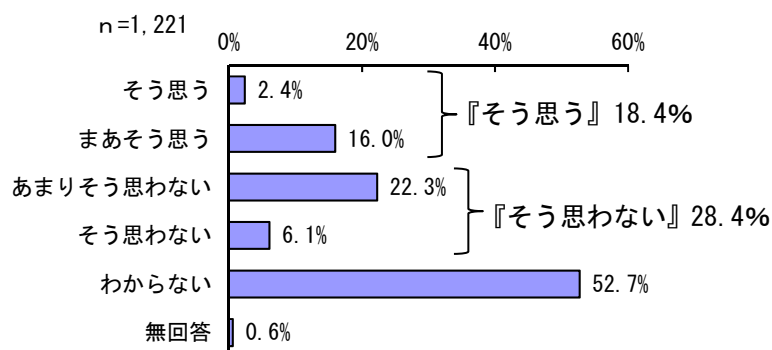
市報国分寺に「やや不満である」、「不満である」と回答した60人のうち54人から、市報国分寺の満足度を上げるための意見があり、6の項目に分類しました。

意見の中では、「紙面を工夫してほしい」が22件と最も多く、次いで「情報を充実してほしい」が14件、「市報の形態・配布・配信について」が7件、「内容の面白みに欠ける」が6件、「字を大きくしてほしい」が3件、「市民に寄り添ってほしい」が2件と続いています。



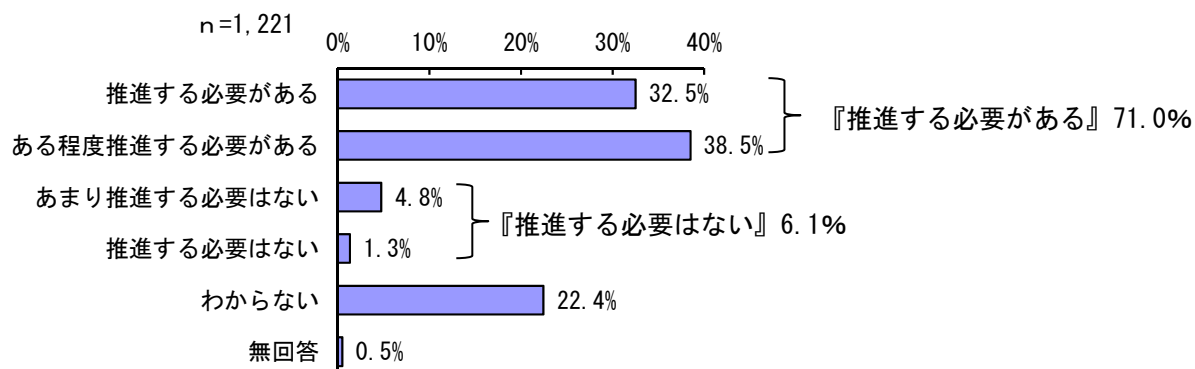
(3) 協働のまちづくり

協働のまちづくりが進んでいると思うかについて、『そう思わない』が28.4%と3割近くとなり、「わからない」は52.7%となっています。



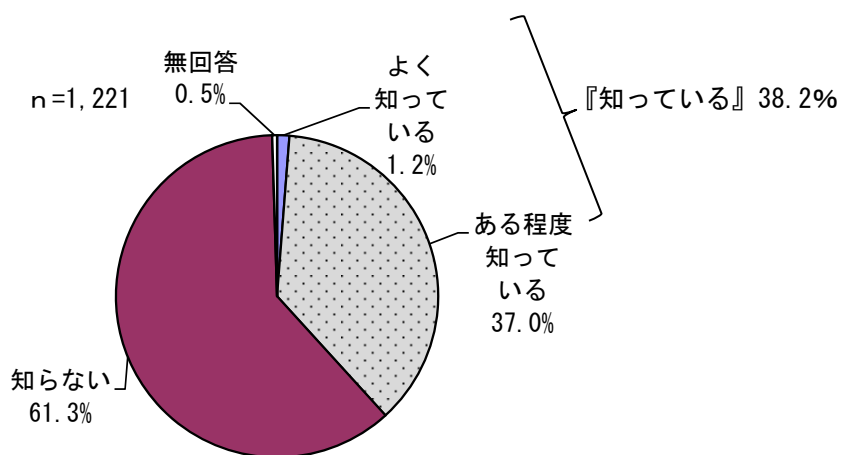
(4) 公共施設の多機能化

公共施設の計画的かつ効率的効果的な修繕や、建て替えの際の多機能化について、「推進する必要がある」と「ある程度推進する必要がある」を合わせた『推進する必要がある』は7割を超えています。一方、「わからない」は2割を超えています。



(5) 市の財政状況の認知度

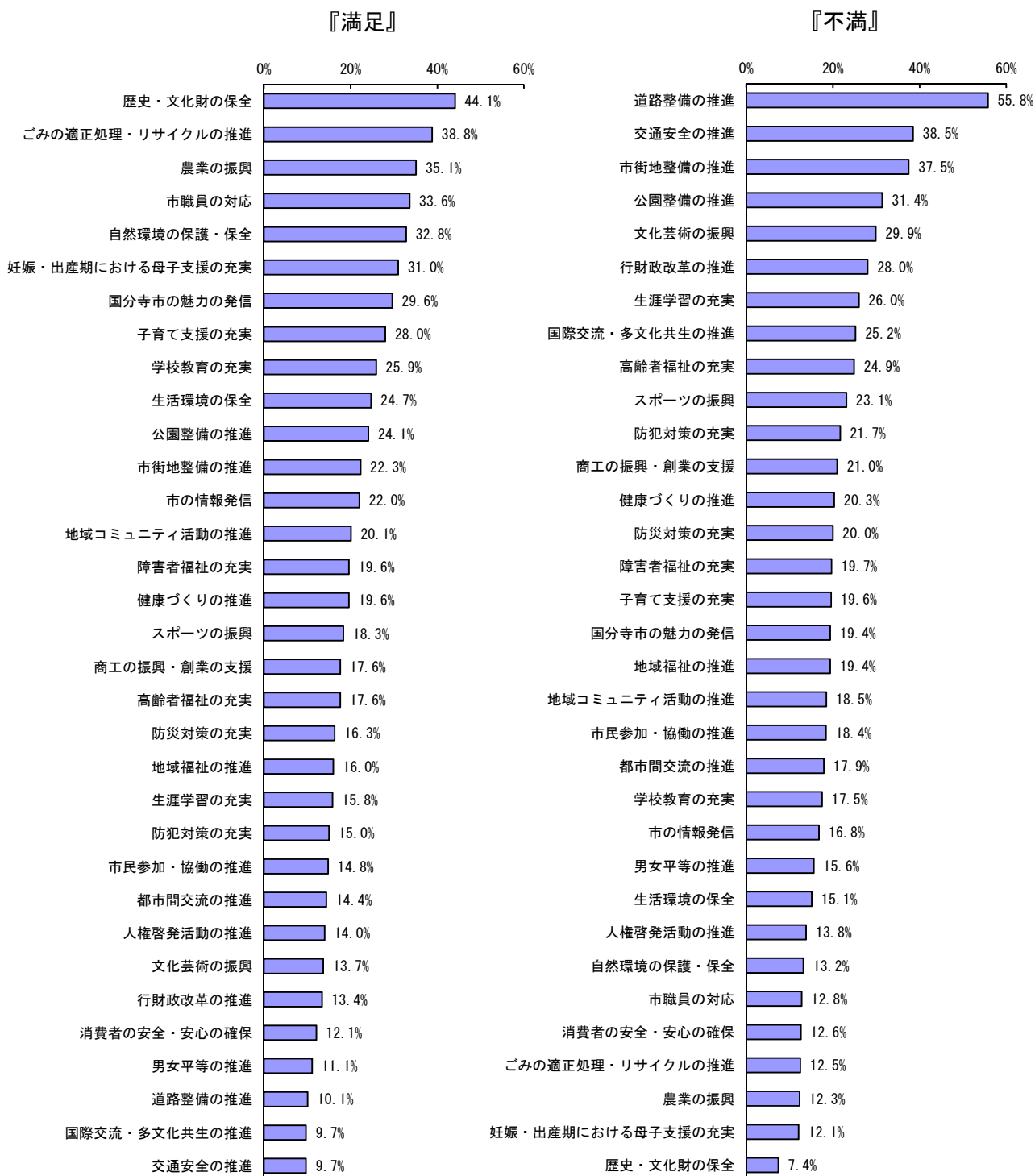
市の財政状況の認知度は、「知らない」が61.3%と6割を超えて高く、『知っている』を23.1ポイント大きく上回っています。



◇ 取組への満足度・重要度

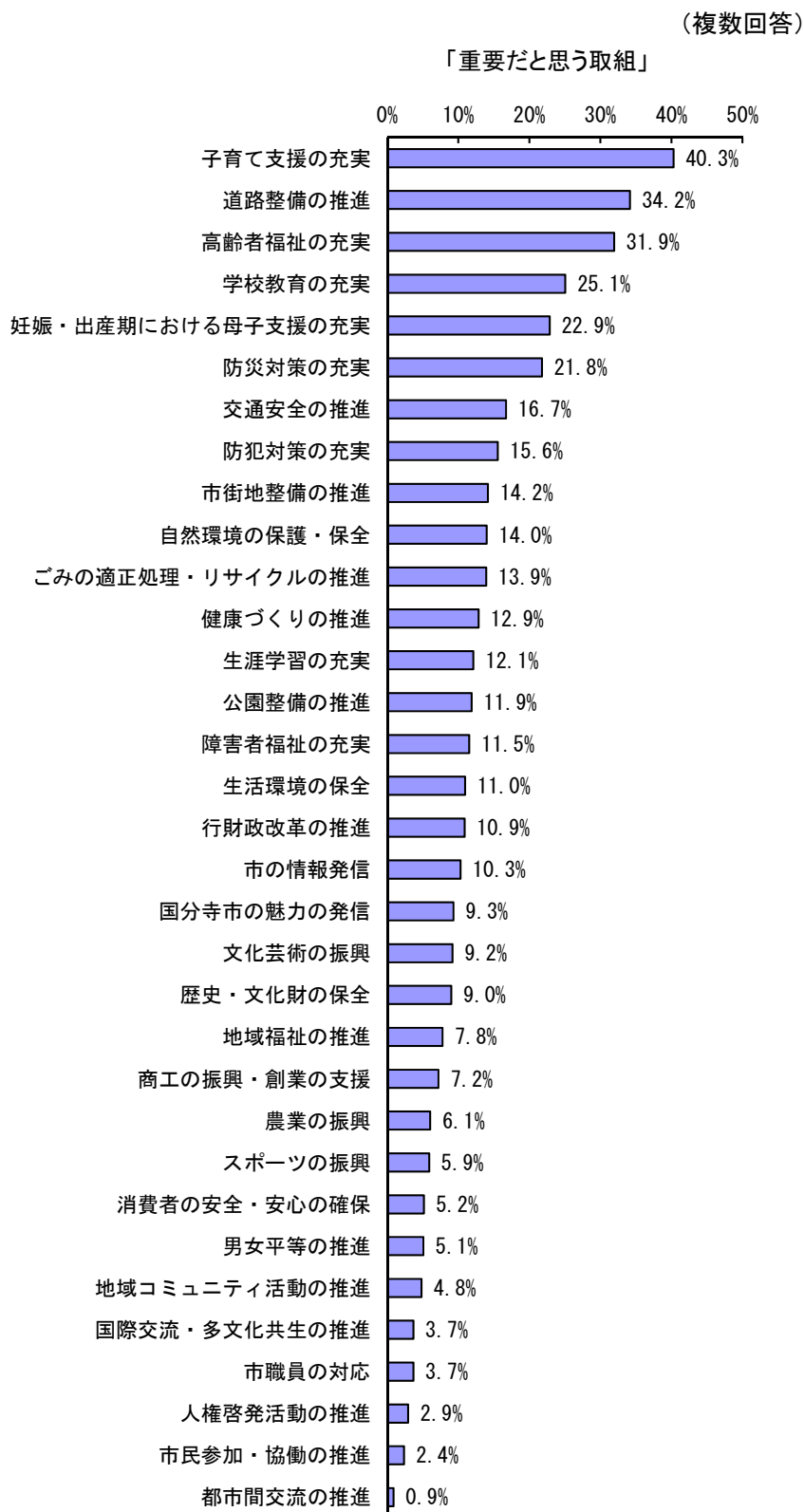
(1) 取組への満足度

33項目に分類した現在の市の取組について、「わからない」と「無回答」を除いて満足度を算出したところ、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、[歴史・文化財の保全]が44.1%と4割を超えて最も高く、次いで[ごみの適正処理・リサイクルの推進]、[農業の振興]、[市職員の対応]と続いています。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は、[道路整備の推進]が55.8%と5割半ばを超えて最も高く、次いで[交通安全の推進]、[市街地整備の推進]、[公園整備の推進]と道路・交通や都市整備に関する不満が高い傾向にあります。



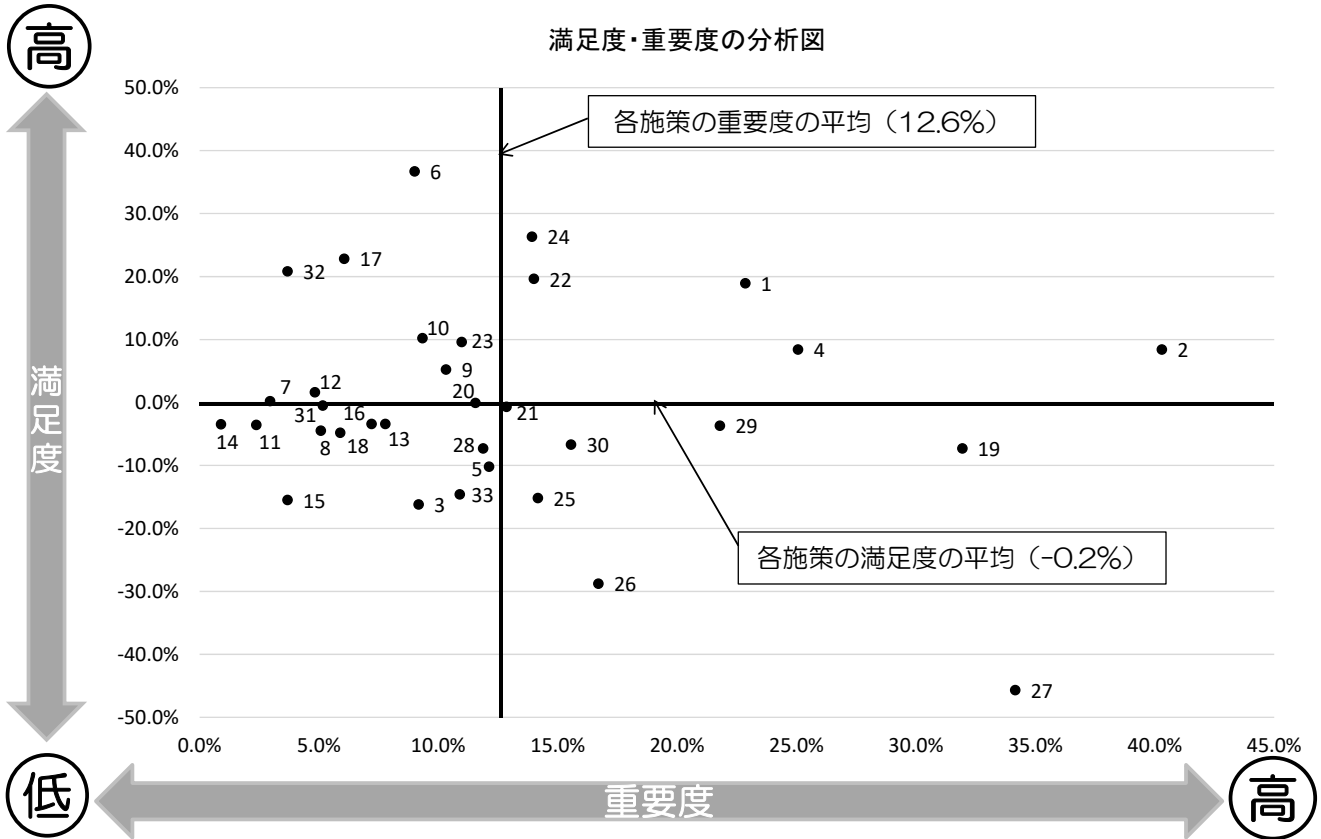
(2) 取組の重要度

33 項目のうち重要だと思う取組は、[子育て支援の充実] が4割に達し最も高く、次いで [道路整備の推進], [高齢者福祉の充実] が3割を超えて続いています。一方、重要度が低い取組は、 [都市間交流の推進] が0.9%, [市民参加・協働の推進] が2.4%となっています。



(3) 満足度・重要度分析図

33 項目の満足度・重要度の分布を見ると、満足度は低いが重要度は高いものとして、高齢者福祉や健康づくり、市街地整備や道路・交通、防災・防犯分野の取組が分布しています。



<満足度高・重要度低>		<満足度高・重要度高>	
6	歴史・文化財の保全	1	妊娠・出産期における母子支援の充実
7	人権啓発活動の推進	2	子育て支援の充実
9	市の情報発信	4	学校教育の充実
10	国分寺市の魅力の発信	22	自然環境の保護・保全
12	地域コミュニティ活動の推進	24	ごみの適正処理・リサイクルの推進
17	農業の振興		
20	障害者福祉の充実		
23	生活環境の保全		
32	市職員の対応		
<満足度低・重要度低>		<満足度低・重要度高>	
3	文化芸術の振興	19	高齢者福祉の充実
5	生涯学習の充実	21	健康づくりの推進
8	男女平等の推進	25	市街地整備の推進
11	市民参加・協働の推進	26	交通安全の推進
13	地域福祉の推進	27	道路整備の推進
14	都市間交流の推進	29	防災対策の充実
15	国際交流・多文化共生の推進	30	防犯対策の充実
16	商工の振興・創業の支援		
18	スポーツの振興		
28	公園整備の推進		
31	消費者の安全・安心の確保		
33	行財政改革の推進		

令和3年度国分寺市市民アンケート調査報告書
【概要版】

(令和3年8月)

発行者 / 国分寺市

編集 / 国分寺市政策部政策経営課

〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1丁目6番地1

TEL:042-325-0111 (代表)